

## 青少年立ち直り体験交流会

### 1 現状と取組

埼玉県は刑法犯少年は平成16年をピーク（8,527人）とし、平成20年まで減少（6,382人）していたが、平成21年には増加（7,148人）となっている。

また、本県の再非行率は平成18年以降では常に全国平均を上回っている状態である。

再非行率の低下を図るため、平成20年4月に官民連携の「非行立ち直り支援協議会」を組織するとともに、同年10月に「青少年立ち直り支援サイト」を開設し、非行立ち直りに関する情報を発信し立ち直り支援に取り組んでいる。

さらに、非行からの立ち直りには、本人だけでなく保護者の方も一人で悩むことがないようにすることが重要であることから県内各地で青少年立ち直り体験交流会を開催し、非行等の問題を抱える青少年の立ち直りを支援するとともに、子どもの問題行動の悩みを抱える保護者を孤立させないように努めている。

### 2 始期

平成21年度～

### 3 内容

- (1) 専門家の基調講演や非行経験者からの体験談発表
- (2) 小グループに分かれた意見交換会 など

### 4 広報活動

- (1) 記者発表、彩の国だより、ホームページ等の周知
- (2) 広報リーフレットの配布※

#### <※主なリーフレット配布先>

- ア 会場所在市町村及び近隣市町村の小・中・高等学校、図書館、公民館
- イ 埼玉県保護司会連合会
- ウ 県政情報センター、県民案内室

### 5 開催数

年5回程度

(参考1：今年度)

【第1回】平成23年6月25日(土) 熊谷文化創造館さくらめいと(熊谷市)  
「少年への支援を考える」(参加者42人)

<内容>

(講演) 子どもたち親たちの心の傷と向き合って(講師：須藤 三千雄)

(講師について) 児童自立支援施設・埼玉学園・元施設長／全国児童自立支援施設協議会元会長  
長年、児童自立支援施設で「非行」を始め、「被虐待」「発達障害」など、支援が必要な子どもたちと暮らしてこられた須藤先生。子どもたちは何を訴え、親は何に苦しんでいるのでしょうか。学校・地域に求められるものは何かを、一緒に考える講演となりました。

(体験報告) 我が子の非行を体験した親からの話

【第2回】平成23年8月7日(日) 川口市ふれあい館(川口市)  
「子どもの叫びが聞こえますか」(参加者61人)

<内容>

(講演) 心の痛みに寄り添う(講師：橘ジュン)

(講師について) NPO法人bondプロジェクト代表  
レディスチーム(女子暴走族)のリーダーだったジュンさん。10代の終わり、取材を受けたことをきっかけに信頼できる大人と出会いました。以後、ルポ執筆の活動を始め、現在は、渋谷で夜にさまよう少女たちの話し相手になっています。その活動は、TVなどでも紹介されました。そこから見えてきたものを語っていただきました。

(体験報告) 我が子の非行を体験した親からの話

【第3回】平成23年10月1日(土) 坂戸駅前集会施設(坂戸市)  
「育つ力・立ち直る力を支える」

<内容>

(講演) 夢をあきらめないで(講師：竹中 ゆきひろ)

(講師について) 保護司  
埼玉県で保護司をしている竹中さんは、会社経営をしながら、少年たちの社会復帰の手助けをしています。実は竹中さん自身、暴走族で少年院に入所していたことがある異色の保護司です。「自分にもいろんな過去があるからと夢をあきらめないで」と、若者を励まし続けています。

(体験報告) 我が子の非行を体験した親からの話

【第4回】平成23年11月19日(土) 白岡町コミュニティセンター  
「子どもの揺れと家族」

<内容>

(講演) 家族・・・重圧・それぞれの自立(講師：小柳恵子)

(体験報告) 我が子の非行を体験した親からの話

【第5回】平成24年1月頃